



謹賀新年



2019年

年頭のごあいさつ



美唄市議会議長 **小関 勝教**

美唄市長 **高橋 幹夫**

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、市議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様におかれましては、平成31年の新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より市議会に対し深いご理解、温かいご支援、ご協力を賜っておりますことに対しまして、深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内各地において、台風や豪雨等による大きな災害が発生した中、道内においても、9月5日の台風21号、9月6日には北海道胆振東部地震が発生したことにより、多くの方が被災され、各地に甚大な被害を及ぼしたほか、ほぼ道内全域が停電となる未曾有の事態に、災害の脅威をまざまざと感じる一年となりました。また、本市の基幹産業である農業においては、農産物主要3品目（米、小麦、大豆）の収量が減少するなど、経済への打撃となったところ です。

我々市議会議員といたしましても、市民の安全、安心を第一に考え、初心を忘れずに、市民の皆様の声を真摯に受け止め、市政に反映できるよう地域の皆様との対話を大切にするとともに、住んでいてよかったと思えるまちづくりに向け、取り組んでいるところでございます。

さて、本市におきましては、少子高齢化や人口減少が進み、自主財源の確保が難しくなる中、地方交付税の削減が予想されるなど、引き続き厳しい財政状況が続くものと思われます。

このような中、現在、計画を進めている市立美唄病院の建替えについても、新病院開院後の経営が重要になってくることから、これまで以上に健全な経営に努めていかなければなりません。

本年は市長選、市議選を控え、また「平成」から新しい元号へと移行されることから、新しい時代の第一歩とし、市議会といたしましても、わかりやすく、開かれた議会運営を目指し取り組んでいくことはもちろんのこと、住民の代表機関として、市民の皆様のさまざまな意見・要望を十分にお聞きしながら、財政運営に対する監視や、行政のチェック機関としての役割を果たしてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様には、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様には今年一年が健康で明るい良い年となりますことを心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、2019年の輝かしい新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

はじめに、昨年は、ここ数年にない豪雪や西日本での記録的な豪雨、強風被害が発生した台風21号、北海道では初めて震度7を観測した北海道胆振東部地震など、とても大きな自然災害が相次ぎ、多くの方の犠牲と甚大な被害が発生しました。

被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、昨年は、私が、市長2期目の重責を担わせていただいてから、3年が経過し、私が目指すまちづくりに向けては、実質的な締めくくりの重要な年でありました。

これまで、「びばい未来交響プラン・第6期美唄市総合計画後期基本計画」や「美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関して、事業の選択と集中を徹底し、行財政改革を堅実に進めてきたほか、私が皆様にお約束したふるさと美唄の創生に向けたさまざまな施策を、全力で取り組んでまいりました。

国内外のサイクリストをターゲットとした、ピパの湯ゆ〜りん館の別館がオープンし、多くの方に利用していただくなど、観光・サイクルツーリズムの推進に努めてまいりました。

また、人口規模に見合ったコンパクトシティ構想の策定や市立美唄病院および市役所を核とする周辺地区を含む、立地適正化計画や都市再生整備計画の策定に向けて進めてまいりました。

今年は、平成最後の年であり、5月からは元号が変わります。こうした実績を踏まえて、本市としても変革の年であり、魅力溢れるまちづくりに向けて、さらに加速してまいります。

市民の皆様との対話がもう少し必要と考え、踏み止まりました、地域医療の根幹である市立美唄病院の建替えに向けて、実施設計を行う予定であり、市民の皆様が安全で安心して、住み慣れた地域で暮らせるよう取り組んでまいります。

私といたしましては、これまで以上に市民の皆様との対話を大切に、お互いに知恵を出し合いながら、さまざまな困難を乗り越え、「人を元気にまちも元気に光輝く美唄」を目指し、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりますが、2019年が市民の皆様にとりまして、健康で希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう、ご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



2018年を振り返って



1月 January

- 俳優の石橋凌さんがナレーションを務める「空知の大地～樺戸道路が繋いだ歴史～」が動画サイトで公開
- なかむらえぶるん倶楽部が道の「女性・高齢者チャレンジ活動表彰」で最優秀賞受賞

2月 February

- NPO法人アルテピアッツァびばいが「第5回エクセレントNPO大賞」で市民賞受賞

3月 March

- 美唄国設スキー場で「第12回美唄スノーボード技術選手権大会」（美唄スキー連盟主催）が行われ、道内外から過去最多の79人が参加

4月 April

- 平成29年度の移住者に対する住宅助成制度の活用実績が10世帯26人となり、平成24年度の制度創設以来最多を記録
- 自転車愛好家向けの別館ANNE X（アネックス）がピパの湯 ゆ〜りん館にオープン



5月 May

- 昭和初期に寄贈された友情人形「エレーン」（青い目の人形）が市の有形文化財に登録



- スポーツクライミングの岸本武蔵さん（美唄尚栄高出身）が「FISU 世界大学選手権」の男子リード種目に日本代表として出場

6月 June

- 知的障がい者支援の工房「北の夢木工」の開設者辻礼次郎さんの木工玩具がグッド・トイ2018受賞

7月 July

- 市観光協会が外国人に分かりやすい「やさしい日本語」を使う観光案内を開始
- 安田侃さんのブロンズ彫刻3点が日三菱美唄炭鉱跡の炭鉱メモリアル森林公園に展示開始

8月 August

- 市農道離着陸場美唄スカイパークで、指導者と2人組で飛行するタンデムフライトが始まる
- 市が市内の企業11社を紹介する冊子「ビバイdeブック美唄で働こう」を3,000部発行

9月 September

- 北海道胆振東部地震が発生し、胆振管内厚真町で震度7を記録（美唄市では震度4）。道内のほぼ全世帯にあたる295万戸が停電し、ブラックアウト（大規模停電）状態になる
- 柔道の永山電樹さん（峰延小出身）が、世界選手権で銅メダルを獲得



10月 October

- 茶志内小学校の閉校式典が行われ、歴代の校長や職員・生徒のほか、市内小中学校長など150人が参加
- ケーキと銘菓の店ヤマシタが新商品「北海道マスカルポーネチーズプリンレモン蜂蜜ゼリー」を販売

11月 November

- 美唄おやこ劇場が舞台鑑賞会「こびとさんがはいつてるの？」を終え、40年の歴史に幕を下ろす
- 峰延中学校の閉校式典が行われ、歴代の校長や職員・生徒のほか、市内小中学校長など154人が参加

12月 December

- 道内各地の工芸作家らが集う初のイベント「美唄まちなかわくわくフェス」開催

美唄市立地適正化計画（素案）への意見を募集します

応募・問合せ 都市建築住宅課都市建築係 ☎63-0139へ

将来の人口規模に見合った市街地の形成に向けて、本市に必要な都市機能と公共サービスを集約させ、効率性に優れたコンパクトシティの形成に向けた計画を作成しましたので、市民の皆さんの意見を募集します。

募集期間 1月15日(火)～2月14日(木)

提出方法 所定の用紙に住所、氏名、連絡先を記載し、持参、郵送（住所などは30ページを参照）、FAX 62-1088、☒kenchiku@city.bibai.lg.jpへ送信のいずれかにより都市建築住宅課へ

素案および意見提出用紙の配置場所 市役所2階都市建築住宅課、市民会館、図書館、保健センター、子育て支援センター、総合体育館、市民ふれあいサロン（コアビバイ内）に配置しているほか、市のホームページからもダウンロードできます

意見の検討結果 3月下旬までに公表予定